

玉桜まちづくり協議会 地域計画



誰もが地域への愛情と誇りを持ち
安全安心に暮らしていける地域の実現を目指して

2024 年 4 月

計画改定にあたって

地域づくり協議会とは、福祉や子育て、防犯・防災など、地域のさまざまな課題を自身の知恵と工夫をもって、行政とともに取り組む組織です。玉垣・桜島地区の地域づくり協議会として、「玉桜まちづくり協議会」を2019年10月27日に設立いたしました。

そして、計画的に地域づくりを進めていけるよう、2020年4月～2024年3月の運営の方向性を示す地域計画を2020年4月に策定いたしました。

しかしながら、同時期に始まった新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年5月に新型コロナが5類に認定されるまで、活動自粛を余儀なくされました。

今回、期間満了に伴い地域計画を改定することになりました。策定から4年が経過するものの、状況の変化が乏しく、今回の主な改定点は「3 地域計画の分野別方針と主な取り組み」の更新となっています。前回同様、玉垣・桜島への愛着と、私たちの住むまちを良くしていきたいという思いを込めた計画です。

また、ぜひ、御高覧のうえ、皆様の御理解と御協力をお願いしたいと存じます。

玉桜まちづくり協議会 会長 水野克則

1 玉垣・桜島の姿

(1) 成り立ち

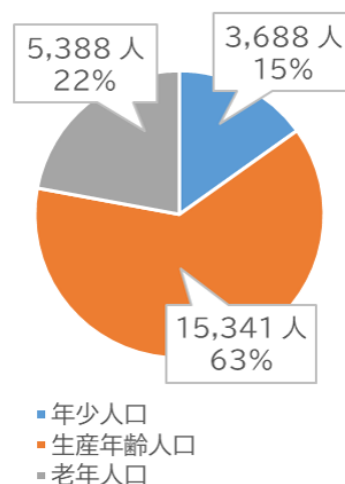
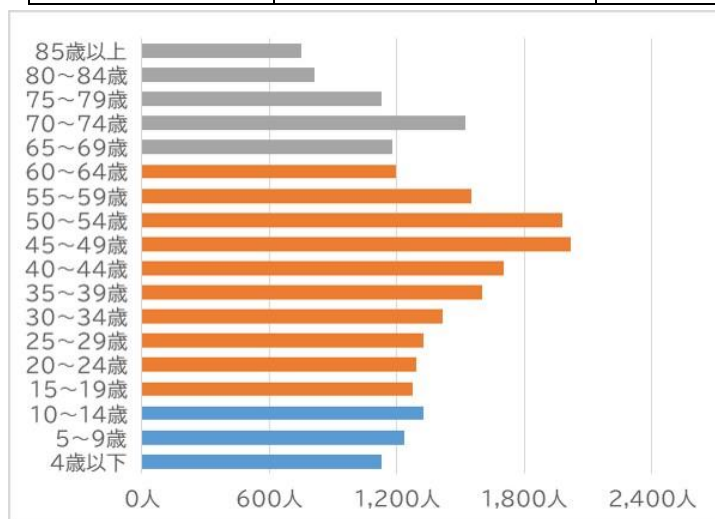
昭和17年12月1日に2市12村が合併して「鈴鹿市」が誕生しましたが、その村の1つ「河芸郡玉垣村」が今日の玉垣地区（行政区）の区域です。

地理的には鈴鹿市の東寄りに位置し、東西約3km、南北約4km、総面積11.47㎢で、人口では白子地区（行政区）に次いで2番目に多くなっています。

この地区は、国道23号によって東西に大きく分かれ、まちづくり協議会においては、東側の区域を「玉垣」、西側の区域を「桜島」、2つ合わせて「玉桜（たまざくら）」とし、これが本協議会の命名の由来となっています。

(2) 基礎データ （令和4年9月末現在）

	鈴鹿市全体	玉垣地区（行政区）	市全体に占める割合
総人口	196,693人	24,417人	12.41%
世帯数	88,262人	10,652人	12.07%

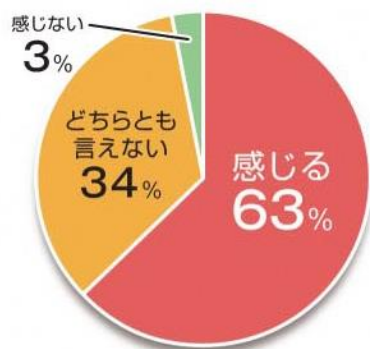


2 住民の意識

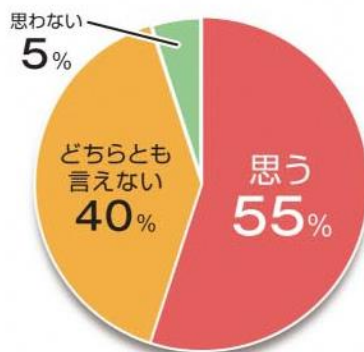
まちづくりアンケートから（平成31年1月実施）

対象 8,521 世帯 回収率 52.18%（回収数 4,446 枚、回答者数 10,136 名）

Q1 今のまちに住んでよかったですか？



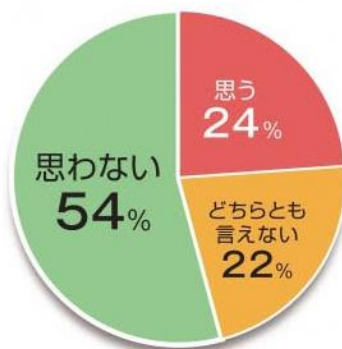
Q2 安全・安心に暮らせるまちだと思いますか？



Q3 災害に対する備えが充実していると思いますか？



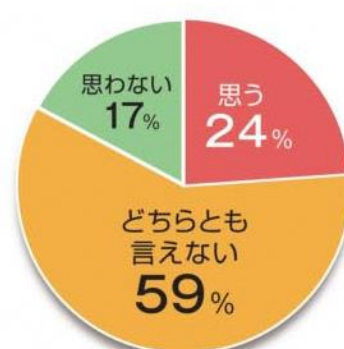
Q4 地域活動が活発なまちだと思いますか？



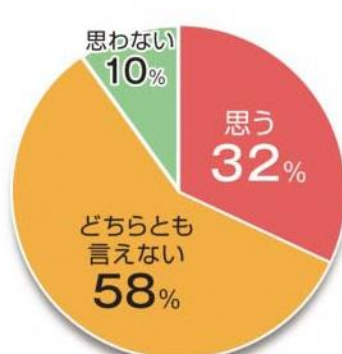
Q5 地域の絆があるまちだと思いますか？



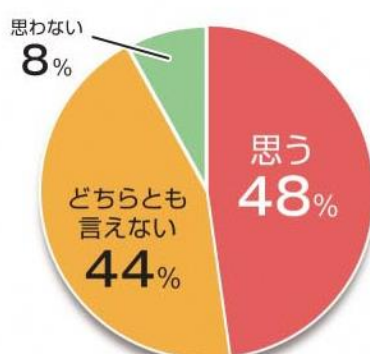
Q6 高齢者が安心して暮らせるまちだと思いますか？



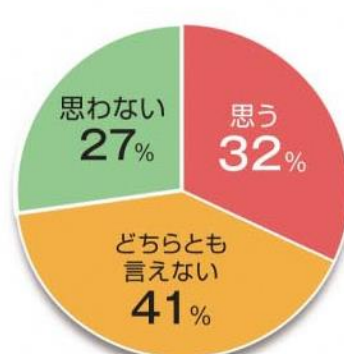
Q7 子育てがしやすいまちだと思いますか？



Q8 清潔できれいな環境が保たれていると思いますか？



Q9 祭りなどの文化・伝統があるまちだと思いますか？



Q10 どの分野に力を入れるべきだと思いますか？

(人)

	総計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
交通安全・防犯	6,357	217	561	898	1,403	1,027	1,046	893	312
地域防災	4,620	141	383	568	964	848	818	667	231
環境保全	2,096	61	158	197	407	367	448	338	120
青少年健全育成	1,159	64	109	181	270	142	168	166	59
健康づくり・スポーツ	1,512	75	148	154	253	201	275	302	104
伝統・文化	628	21	62	64	112	101	108	117	43
高齢者支援	4,054	63	188	265	600	662	936	952	388
子育て支援	2,541	83	279	650	635	326	299	209	60
障がい者支援	855	25	60	69	128	172	154	162	85

総計、各年代の回答数の多かった順番 1番 2番 3番

Q11 まちの課題は？



Q12 わがまちの誇れるもの、自慢できるもの、大切にしたいものは？



登校・下校時もボランティアの方に立っていただき、安心して学校へ行かせられる。

車がない人も自転車で暮らせる町(駅に近い、スーパーなど買い物場所が多い)

近くに海、山があり、田畑など自然環境が多い。

工場(企業)もまあまあ有る

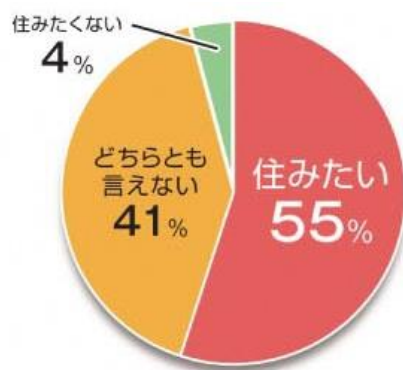
自治会による町内清掃等、住民が協力的に行っている。行事運営が毎年スムーズであること

唐人おどり・山の神・地藏大マツ・盆踊りなど一朝一夕で成り立たないものがあること

桜の森公園、石垣池公園、海の見える岸岡山緑地、田古知川の桜、鈴鹿医療大学、etc.

ご近所さんとのコミュニケーションが出来ていることが誇れる、自慢も出来るし、これからも大切にしていきたい。

Q13 あなたはずっと今のまちに住み続けたいですか？



3 地域計画の分野別方針と主な取り組み

本協議会では、専門部（巻末組織図参照）ごとに今後 4 年間の活動の方向性をまとめました。

(1) 防犯安全部

**目標 『子どもからお年寄りまで安全で
安心して生活できるまち』**



近年、玉桜地域においても小学校への誘拐予告、コンビニ強盗などの物騒な事件が発生しています。防犯安全部では鈴鹿警察署、学校関係者、他部門などと協力して「パトロール活動の強化」を図るとともに、防犯用の「のぼり旗の設置」に加え、より耐久性のある「立て看板の設置」などにも取り組み、住民が安心して暮らせる地域の実現を目指します。また、青少年育成部、防災部との共催活動を通じて、若年層への防犯安全意識向上にも取り組む計画です。

(2) 防災部

目標 『目指せ！！ 地域の防災力の向上』



引き続き地域の課題として、防災意識の低さ、防災施設・備品の不足が挙げられます。

課題解決に繋がる活動として、避難訓練、火災予防パトロール、自治会ごとの防災訓練、公民館行事等での防災に関する啓発などが挙げられました。既に自治会ごとに取り組んでいることもありますので、防災部の計画としては玉垣・桜島地域全体の防災意識向上のため、防災部と地域ごとの自主防災隊の連携を強化し、訓練等の回数を増やしつつ地域の防災力を高めていきます。

また、避難マニュアルの作成にも取り組みます。

(2) 青少年育成部

目標 『安全・安心 集い合い 笑顔であいさつ 玉桜』



この３年間に及ぶコロナ禍の時期を経て、ライフスタイルの多様化や子育てを取り巻く家庭・地域の状況の変化により、地域とのつながりが希薄となり、子育ての孤立化、子育てに不安を抱える保護者の増加、核家族化や共働き世帯の増加に伴う育成の支援などの課題に加え、子どもの貧困や児童虐待の問題も地域として一早く察知できるように努めます。

この期間の取組として、「パトロール」に着目し、防犯安全部やまちづくり部などと一緒に、例えば、犬の散歩や買物をしながらの「ながらパトロール」により、子どもの安全を守りつつ、世代間のコミュニケーションをとりながら地域の明日へのつながりを願っています。

(4) 健康スポーツ部

目標 『わくわくイベントでいきいきに！！』

玉垣と桜島には、それぞれスポーツ振興会があるため、玉桜が一体となって出来る行事が無く、一緒にスポーツができる仕組みづくりが課題です。

現在の活動を見直しながら、高齢者も安心してスポーツをし、健康づくりを推進するような事業を展開していきたいと考えています。前回は玉垣地区側で、まち歩きによる「我がまちの再発見」とコミュニケーションを深める効果が期待できる「フォトロゲイニング※」というスポーツイベントを開催いたしましたが、次年度以降は玉桜として開催できるよう、まずは役員同士の交流を深めながら取り組んでいきます。

※地図をもとに、時間内にチェックポイントを回って写真を撮り、

得点を集めるスポーツのこと。



(5) 文化振興部

目標 『誰もが参加したくなるイベント』

当部は、最大のイベントの「文化祭」をメインとして、実施しています。「文化とは何か？」と改めて考えると答えにくく、とても難しいもののように構えてしまいがちです。しかし、普段の日常から何気に取り組んでいる趣味の手作りのものも、文化や芸術に含まれるものとして、身構えず気軽に楽しめる身近なものとして考えています。

さらに、今行っている陶芸教室・伊勢型紙教室や餅つき大会などを活用しながら、この地域の文化、文化資産を継承し、お子様から大人まで幅広く、学び、そして楽しめるもの、誰もが参加したくなるようなイベント作りを目指します。



(6) 社会福祉部

目標 『誰もが気軽に集まる優しい地域づくり』

当部は、玉垣地区社会福祉協議会の事業を受け継ぎ、玉垣と桜島の民生委員児童委員協議会と連携を取りながら、社会福祉の増進を図っていききたいと考えています。



これまで、福祉事業としては、玉垣地区敬老会、一人暮らし高齢者への給食サービス、音楽いきいき教室、介護予防教室、サロン玉桜など取り組んできました。しかし、本当の福祉は日常にあると考えています。

元気な高齢者が多く、小さい子どものいる若い世代も多い地域ですが、一人暮らし世帯や核家族世帯の増加、地域コミュニケーションの希薄化が進み、困ったときの近所同士の助け合いが減ってきていると感じます。

そこで、社会福祉部が中心となり、「玉桜支え合いネットワークの開設」を目指して、調査研究から始め、地域の連携強化を図りたいと考えています。

また、まちづくりアンケートでは、高齢者が気軽に話し合える場所を求める声もあることから、「自治会単位のサロンの開設」にも取り組み、高齢者の憩いの場を広げていきます。



(7) まちづくり部

目標 『子どもも大人も住んで良かった玉桜』

当部は、自治会長により構成されており、全ての分野に接点があるため、各部のサポート役を担っていきます。

「地域づくり」については、住民の認識が薄いことを実感しており、「地域づくり」を周知することも当部の役割と思っています。

地域づくりを理解し、関わりを増やし、担い手を育てることを目標に、『「やってみたい」と「やってほしい」のマッチング』に取り組んでいきます。

また、「玉桜クリーンタウン事業」を継続して展開し、自治会の町内美化を支援していきます。

さらに、今後見込まれる高齢者の急増に伴い、発生が予見される行方不明者への対応など高齢者対策にも取り組みます。

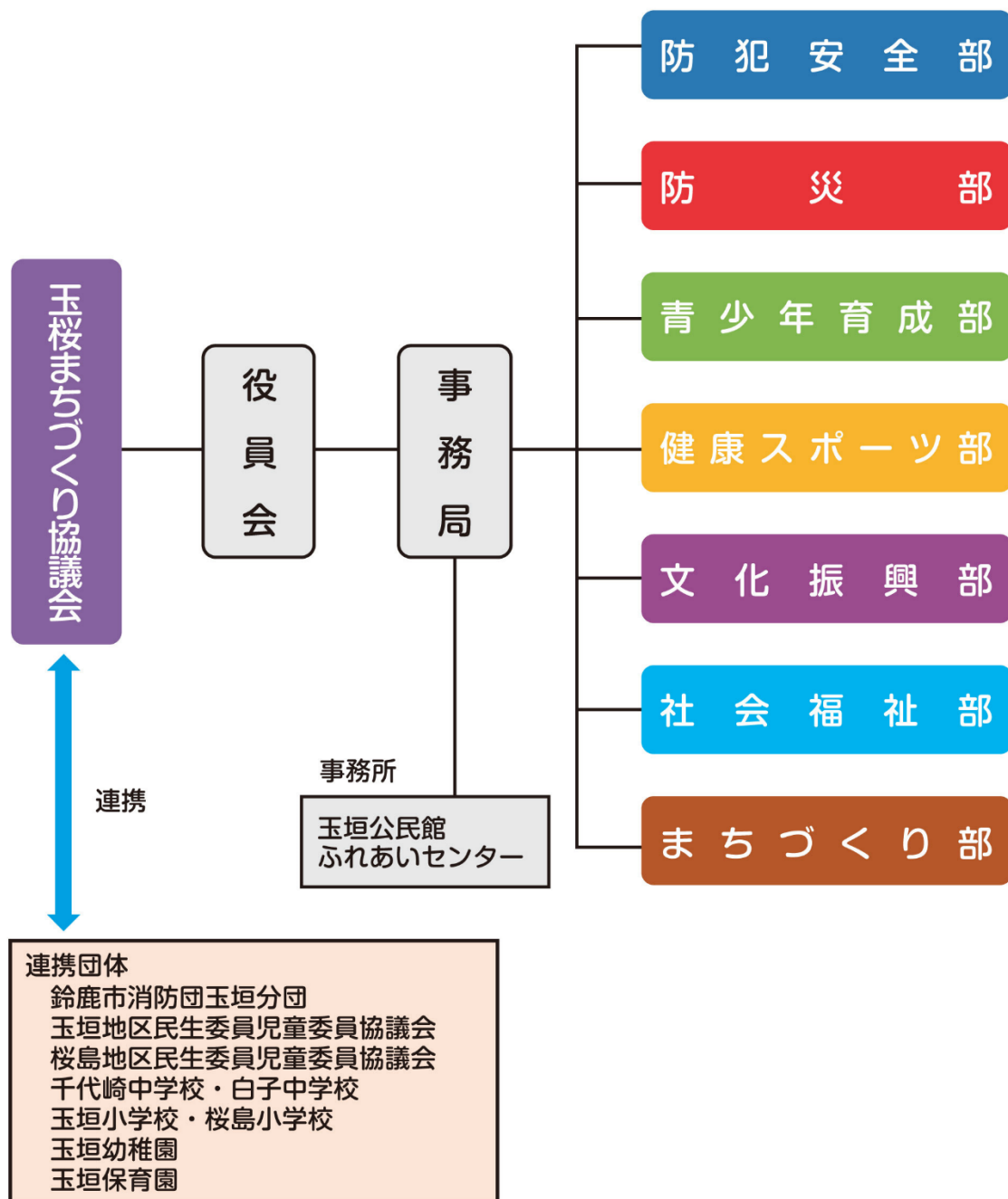
【玉桜まちづくり協議会のロゴマーク】

令和3年に飯野高校応用デザイン科ビジュアルデザインコースの協力の下、北川美末菜さんの作品を採用し、制定いたしました。

「玉」と「桜」で大人と子どもを表現し、支えあって暮らせるまちをイメージしています。



玉桜まちづくり協議会 組織体制



※玉垣区域、桜島区域ごとに事業を行うこともあります。

発行 玉桜まちづくり協議会

鈴鹿市北玉垣町 980（玉垣公民館内）